

【町長・教育長】

<p>通告順</p>	<p>10</p>	<p>質問 議員</p>	<p>久保議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>学校「部活動」へ校外の指導者や、町外へのバス移動の準備は</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>我が沼田町の『沼田学園』沼田小&amp;中学校の児童&amp;生徒の数は、役場の福祉政策からJR利用促進などの移住定住策などに影響を受けつつも、漸減に向かっています。その結果としての小規模校の欠点を小中「一貫教育」などで克服を図っていますが、少子化により選択肢が狭まる部活動の多様性を確保し、同時に教職員の負担の軽減を目指さなければなりません。</p> <p>そのためには、①部活動の種類と活動数を減らすか、もしくは②校外の指導者の導入や他市町の学校の部活動との連携か、のどちらかの選択かハリブリッド化を目指さなければなりません。</p> <p>その選択をする時に①沼田町の学校教育のサイズに児童&amp;生徒を合わせるか、もしくは②児童&amp;生徒の希望に沼田町の学校教育のサイズを合わせるか、のどちらかの基準も選択しなくてはなりません。</p> <p>おおむね、①には①が、②には②が親和性があります。</p> <p>が、しかし、我々は安易に子供たちの希望や可能性を、まちづくりの犠牲にしてはなりません。それは教育長も町長も同じお考えと思います。</p> <p>この大きな課題を抱えているのは沼田町だけではなく、6月6日にスポーツ庁の有識者会議が「公立中学校の運動部活動の指導を、学校から地域のスポーツクラブなどに委託していく」ことなどを盛り込んだ提言を提出しました。運動部だけではなく7月には文化庁へ吹奏楽部や美術部などの文化部にも同様な提言が出される予定です。今後、これらの提言をもとに全国の学校の部活動の指導者が学校から地域の町民などへの移行が具体的に進められます。これに生徒一人当たり年1万7千円の負担増と試算されました。</p> <p>これら沼田町内外の課題を、子供の希望と可能性の側に立ち質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニティ・スクールやコーディネータはニーズ把握と対策に効果的か。</li> <li>2. 指導者の確保と財源などをどうするのか。移行スケジュールの準備は。</li> <li>3. 町外の学校と共同で部活を形成するとバス移動が必要だが準備は。</li> <li>4. 北空知の広域で人材や部活を活かす一部事務組合が必要ではないか。</li> </ol>		



できるだけ

の希望と可能性

# 部活のサイズを子供に合わせよう！

オトナの工夫で

- 目的
- ・ 少子化により**選択肢が狭まる部活動の多様性**を確保。
  - ・ **教職員の負担の軽減**。



そのためには…

**国**は、こちらを促す♪



①部活動の種類と活動数を減らす

②校外の指導者の導入や他市町の学校の部活動との連携

親和性

親和性

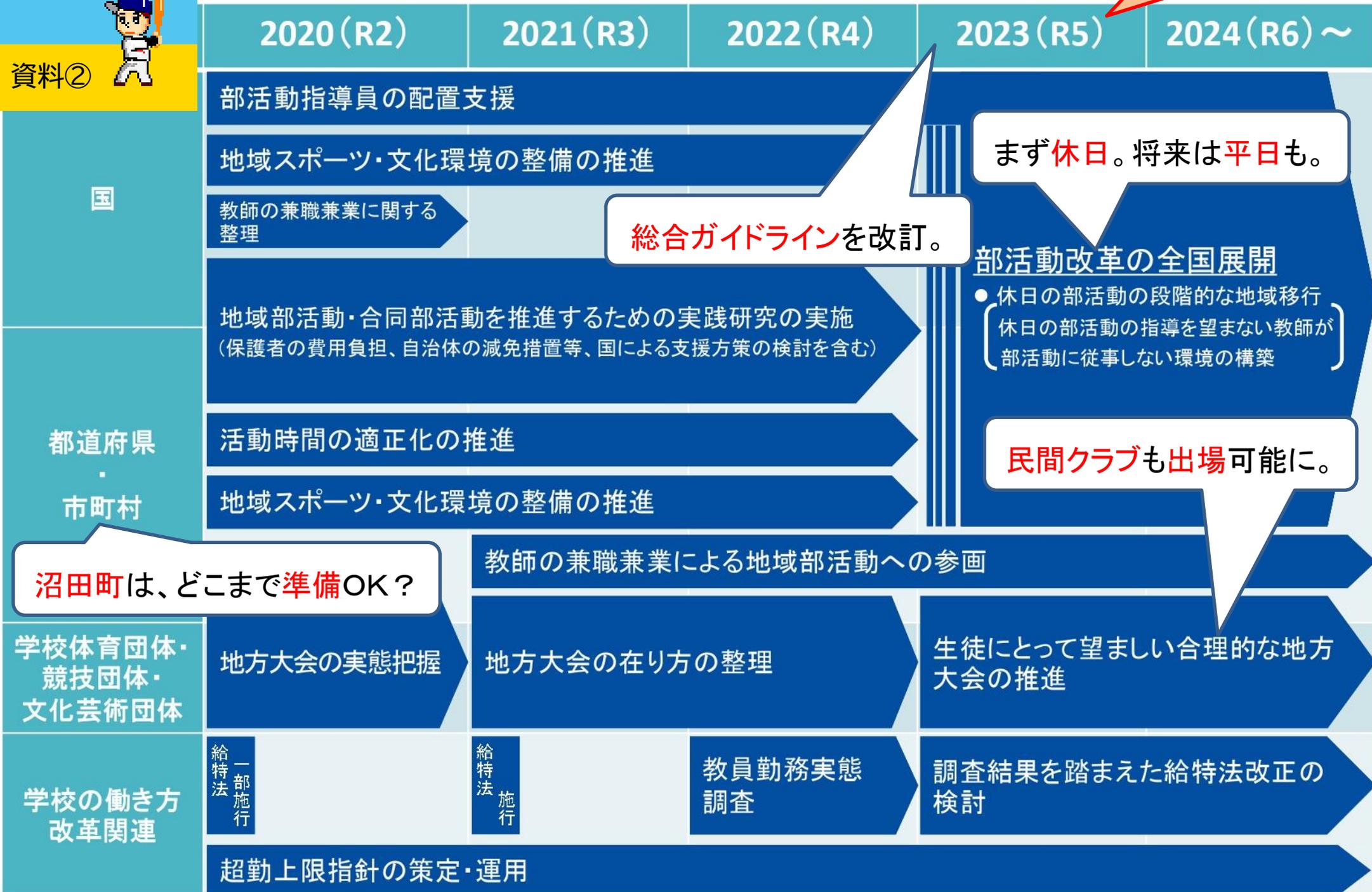
①沼田町の**学校教育のサイズ**に児童&生徒を合わせる

②**児童&生徒の希望**に沼田町の学校教育のサイズを合わせる

# 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革のスケジュール

文部科学省2021年の資料

資料②



総合ガイドラインを改訂。

まず休日。将来は平日も。

部活動改革の全国展開

- 休日の部活動の段階的な地域移行
- 休日の部活動の指導を望まない教師が部活動に従事しない環境の構築

民間クラブも出場可能に。

沼田町は、どこまで準備OK？

教師の兼職兼業による地域部活動への参画

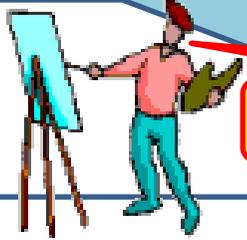


子供の可能性をまず優先し、

すべてのスポーツと文化を公平に♪

2018年10月「北空知定住自立圏共生ビジョン」に基づき♪

# 一部事務組合の部活バスで**他市町**の部活と**つなぐ**♪



複数校の合同チームで多様性を確保！

広域の住民&施設スキルを整理し、子供の未来に活用しよう♪

文化施設は、文化部にワンランク上の指導♪

深川市  
東洲館

深川市

北空知すべての子供が、巡回の部活バスを利用！

深川市  
拓殖短大

秩父別町

分散化による指導者の**確保**と**負担減**も重要。

大学生の指導力の活用は、大学側にも宣伝メリットがあります。

妹背牛町

沼田学園

北竜町

協働のまちづくり

バスは**行き**があれば、**帰り**は保護者が乗り合わせ可能♪

土間の体育館やカーリング場など、その町独自の施設が広域で生かされます。



【町長】

<p>通告順</p>	<p>1 1</p>	<p>質問 議員</p>	<p>大沼議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>生産者へのバックアップを</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>昨年から続いている原油価格や原材料費の高騰がロシア・ウクライナ情勢が長期化しています。</p> <p>加えて急速な円安がモノの輸入コストを押し上げているため値上げが止まりません。</p> <p>帝国データバンクの調べではR4.12月までに1マン品目を超える食品が施上げされ商品価格は平均13%も上がるとしています。</p> <p>原油価格の動向は、オミクロン株の影響が軽く経済が順調に推移した場合、石油の需要も伸びるので価格が高止まりする可能性があるかと予想されます。このことは、生産者も消費者にとっても油断のできない状況にあるといえます。</p> <p>一般家庭での家計は食糧費、光熱費、教育費が大半を占めているので今後も支援対策を考慮してくれることを望みます。</p> <p>一方、生産者にとっては経費がかさむと利益減になり経営を圧迫していきます。</p> <p>6月2日の北海道新聞によると、ホクレンは化学肥料主要11品目平均78.5% 値上げすると発表しました。1989年以降最大の上げ幅となっています。</p> <p>国は農家の負担を減らすために直接補助金を支給することを検討しているようですが本町はどのようなバックアップを考えますか。</p> <p>また、ウッドショックにより木材も値上げされています。住宅リフォーム助成金の拡充についてはどのように考えますか？</p> <p>原材料の高騰などに伴う食材の値上げで学校給食費を値上げしている自治体が出てきています。</p> <p>今後の見解をお尋ねします。</p>		

本当は94%の値上げだった？

ホクレンさん

過去最大！

肥料78%値上げ

農家経営に打撃！

生産者に支援を！





# 値上げの夏

食品だけでなく!

全ての物価が上昇している!

家計は



これからの生活支援は!